質問 15

質問
流体―構造／応力連成で圧力・せん断力・変形を評価する方法

回答
・流体解析で求めた圧力と壁面せん断力を、応力解析へ荷重として渡します。
・流体側の面と、応力側で荷重を受ける面を対応させます。応力解析では、材料定数と固定条件も設定します。
・変形した形状が流れへ与える影響は、自動では流体解析へ戻りません。必要な場合は、変形形状を更新して流体解析をやり直します。
・過渡連成では時刻をそろえます。また、流体側で面積分した合力と、応力側に入った荷重が合うか確認します。

関連ヘルプ：https://www.muratasoftware.com/products/mainhelp/desktop/ProjectCreation/AnalysisCondition/result_import.htm

Copyright © Murata Software Co., Ltd. All rights reserved.